

今年度、生涯学習課だよりでは、生涯学習課関連の各種事業を中心にお知らせしてきましたが、今回は、県社会教育施設の活動を支えているボランティアの方々を紹介します。

## 博物館

### 「アイリスの会」



旧奈良家の前で



山吹を使って飾り付け

博物館ボランティア組織「アイリスの会」は平成13年から活動を開始し、今年で13年目になりました。現在会員は4チーム編成の34名で活動しています。

活動内容は以下のように多種多様です。

- ・名誉館長の講話や講演会などの受付、会場設営の協力
- ・「組み木絵本」の読み聞かせ
- ・博物館図書整理、壁新聞「アルバム」の掲示
- ・会員通信「時計」作成
- ・ワラ仕事の研修および体験の補助

その他、毎年春に「軒の山吹プロジェクト」と題して、旧奈良家住宅を山吹で飾り付け、菅江真澄の描いた風景の再現をしています。

一緒に活動する仲間を6月頃まで募集しています。

## 農業科学館



ビオラの花柄摘み (6月)



セカンドスクール的利用でのりんご狩り補助 (10月)

平成25年度の登録者数は37名です。1人2時間程度の活動を1コマとして、4月から2月までを数えると425コマの活動をしました。植栽物管理の補助がメインの活動ですが、セカンドスクール的利用や、公募企画展示、農業科学館まつりなどにも協力しています。

特に農業科学館まつりでは、子どもから年配の方まで様々な人々と交流する機会があります。登録者の中には、ボランティアをしながら、農業科学館の講座「サン・アグリセミナー」を受講し、知識や技能を深めている方もいます。

## 近代美術館

### 「AMC (アムック)」

Akita Museum Cooperator



野外彫刻の清掃



研修旅行

近代美術館ボランティア「AMC (アムック)」は、今年度、高校生10名を含む91名で活動しました。内容は、展示室内での見守り活動、広報物の配布活動、館内の案内・誘導、野外彫刻清掃、研修会・学習会への参加などです。一人でも多くの方に美術館の魅力を伝えること、また、来館された方に喜んでいただけることを目指して活動しています。

<会員の声>

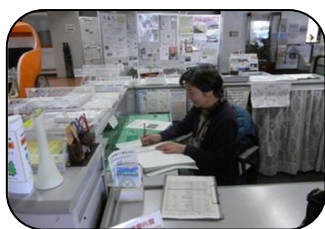
・自分にとって心地よい状態をつくってくれるのが美術館。素敵なお品に出会うとうれしくなります。

・通信、ギャラリートークへの参加など、高齢者でも参加できてありがたく思っています。

## 生涯学習センター

### 「生涯学習ボランティア

コーディネーターのぞみ」



ボランティア相談



公開講座の様子

生涯学習ボランティアコーディネーター「のぞみ」は、5人で活動しています。

毎週木曜日には、生涯学習センターのブルーの窓口で、ボランティアの相談や館内案内を行っています。

ボランティアをしたい人と、ボランティアを必要としている人とのコーディネートが主な役割になります。県内のボランティア活動の情報収集や情報提供もしています。

これまで、藍染め、ヨガや、健康に関する講座を行ってきました。「食の安全」をテーマとした公開講座等、会員の特技や人脈を生かした講座を行っています。

## 図書館・あきた文学資料館



おはなしタイム



ボランティアの方が育てたアスティチョーク



新聞の切り抜き

県立図書館内の「子ども読書支援センター」では、支援員が読書相談や「おはなしタイム」の開催、お薦めの本の紹介等を行っています。「おはなしタイム」は第1、3日曜日に、参加する子どもたちの年代やリクエストに合わせて実施しています。また、毎週木曜日には、本の選び方や読書に関する相談等に対応しています。

県立図書館分館であるあきた文学資料館では、毎週金曜日に新聞の切り抜きや資料の整理、配付物の作成補助などを行っています。また、ラウンジでの展示補助や花壇の世話などもしています。